

子どもはそのまま未来です

～今を生きる子どもとともに～





認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター

未来のたね
を育む

福井県子どもNPOセンターは、すべての子どもが豊かな子ども時代を過ごせる社会を目指して1999年より活動を続けています。私たちは、子どもは生きる権利、育つ権利、守られる権利をもち、自分の意志で参加する、社会を構成する一員であるという子どもの権利条約に謳われている新しい子ども観に立って活動しています。

子どもをとりまく社会は、いじめ、不登校、非行など多くの問題を抱えています。子どもの成長過程に、どのような経験をしていくのか、どのような大人に出会っていくのかはとても大事なことであると思います。私たちは子どもの主体的な活動、理解ある大人に出会う活動に取り組んでいます。

子ども時代に遊びや文化芸術などにふれることは子どもの想像性を育みます。子どもは自由に使える時間が保障されることでじっくりと成長することができます。また、近くに話を聞いてくれる大人がいることで安心して前に進みます。私たちはこのような子どもの余暇を保障していきます。

この社会をつくっているのは大人ですが、社会にいるのは大人だけではありません。私たちは子どもの意見が活かされる「子どもと共に生きるまち」を目指しています。子どもを真ん中に置いてみんなで繋がり合う社会をつくっていきましょう。

福井県子どもNPOセンターと一緒に、未来のたねである子どもたちを育んでみませんか。皆さまのご支援、ご協力を心からお待ちしています。



子どもたちが
思いっきり
豊かな子ども時代を
過ごせる社会を目指して!

福井県内の子どもたちに対し、文化権の確立と社会参画の機会の拡充を図るとともに、県内の子どもと文化・芸術に関する諸団体とのネットワーク化を促進し、その活動に関する連絡、交流、支援を行い、もって地域の豊かな文化環境づくりに貢献し、未来を担う子どもたちの成長発達に寄与することを目的とする。〔定款第3条より〕



設立経緯

1990年　6月10日	福井県内の子ども劇場の発展を目指し、福井県子ども劇場協議会が発足
1999年　9月13日	より発展的に公益活動を展開するために「福井県子どもNPOセンター」に名称を改め、県内初のNPO法人格を取得
2014年12月25日	NPOの活動を「税制」で支援、寄付に税制上の優遇を与えることで活動が促進し、より市民の社会的貢献、社会参画を進めるために県内初の認定NPO法人を取得
2019年12月25日	認定の有効期間を更新

福井県子ども NPOセンターの 事業内容

1 ふくいチャイルドライン

18才までの子どもの話を電話で聴く活動です。毎日午後4時～9時まで開設しています。子どもからの電話は一般のボランティアが受けています。

18才までの子ども専用電話
ふくいチャイルドライン
FUKUI CHILD LINE
まいにち ごご4時～9時
☎0120-99-7777



2 子どもフェスティバル

子どもによる子どものためのフェスティバルです。子どもフリーマーケット「ボクたちのお店」は毎年多くの子どもたちが参加しています。子どもを中心にして広い世代の人が交流します。

3 みんなのあそび

自然にふれあう遊びは子どものみずみずしい感性や五感を刺激します。四季折々近くの森で思いっきり遊びます。





4 木田児童クラブサポート

児童クラブは放課後、留守家庭の小学生を預かりその遊びや生活を支援しています。地域より委託されて木田児童クラブ、第2木田児童クラブのサポートをしています。

5 表現ひろば

演劇的手法を用いた遊びやお芝居作りで、子どもの表現力やコミュニケーション力を育みます。





6 子どもと文化企画

小学校の鑑賞教室や公民館、福祉団体などに演劇や人形劇を紹介しています。また子ども会や親子の集いに、センターの手作り遊びも使われています。

7 大人が学びあう講座

社会全体で子どもを見守り育くむことが必要とされている今、大人にむけて子どもの姿を知らせる講座を毎年開催しています。





8 広報

広報誌「こどもchannel」
年2回発行

ホームページ
http://childnpo.com/

Facebook

Twitter

福井県子ども NPOセンターでは 支援会員を 募集しています



子どもNPOセンターは国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。子どもたちひとりひとりの個性の輝きを応援する活動にぜひご支援ください。

A. 賛助会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し活動を支援する会員。

会員特典：センター主催事業のご案内と優先的参加

●個人
一口年額／5,000円

●団体（法人）
一口年額／10,000円

B. ボランタリー会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。

●個人
一口年額／1,000円

C.一般寄付も受け付けています

※寄付のかたちはいろいろあります。

あなたの思いを未来の子どもたちへ
「遺贈寄付」をご存じですか

遺贈とは、遺言によって財産の全部または一部を、特定の個人や団体に無償で寄付することです。遺贈のご意志は遺言書に認定NPO法人福井県子どもNPOセンターを遺贈先としてご指定いただくことで初めて実現します。なお、遺贈寄付は相続税が課税されません。

税制上の優遇措置について

福井県子どもNPOセンターは福井県より認定された「認定NPO法人」です。
（認定番号 男女県第143号 認定年月日 平成26年12月25日）

「認定特定非営利活動法人」へのご寄付や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。ぜひご利用ください。

❶個人のご寄付

【所得税】（寄付金の合計額 −2,000円）×40％が税額控除されます。［上限：所得税額の25％］
【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。
【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄付した場合、寄付をした財産には相続税が課税されません。

❷法人のご寄付〈法人税〉

一般寄付金の損金算入限度額とは別に、損金算入することができます。

※詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせください。
また、国税庁のウェブサイトでも手続きの詳細が掲載されています。

会費、ご寄付の入金方法

振込用紙で

郵便振替の通信欄に

❶住所 ❷氏名 ❸電話番号

❹会員の種類
（左記ABCいづれか）

❺口数

を記入してお振込みください。

郵便振替
00770-1-45546
福井県子どもNPOセンター

つながる募金で

ソフトバンクが提供するつながる募金からの寄付も受け付けています。スマホやパソコンから簡単に寄付ができます。

つながる募金

お気軽にお問い合わせください

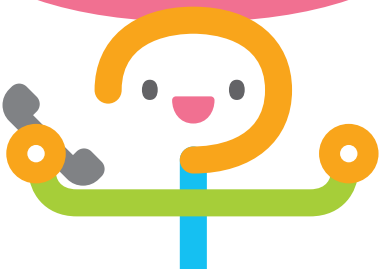
認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター

〒918-8106 福井市木田町36-1コーポ木田201
tel.0776-97-8460 fax.0776-97-8461
childnpo@muse.ocn.ne.jp childnpo.com

18才までの子ども専用電話

ふくいチャイルドライン

FUKUI CHILD LINE











まいにち ごご4時～9時

☎0120-99-7777

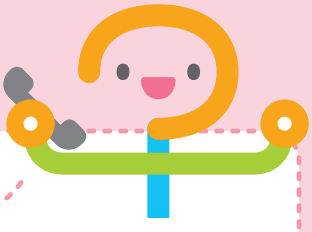
人に言えないこと…
電話だから話せるね

家や学校で、なんとなく言いづらい思いや聞けない悩みってあるよね？
押しつぶされそうなつらい気持ち、誰かに聞いてほしい…。
ものすごく楽しくて、笑いが止まらなかったことだってある！
このこと、誰かに話したい！

誰かとつながっていたい…。

そんな子どものありのままの声を聴く。それが、チャイルドラインです。

虐待や貧困などさまざまな背景が見え隠れし、子どもたちの気持ちや思いが置き去りにされている今。そんな過酷な状況の中でも、子どもたちは必死に考え、声をあげようとしています。歩んできた道を時には立ち止まり、振り返りながら、子どもは気づき、そしてまた前へ進もうとするのです。そんな力を子どもは持っています。
チャイルドラインは「子どもの話を聴き、その力を信じて寄り添い、一緒に考える」という姿勢を大切にしています。会話をとおして、人と人がつながることのあたたかさを子どもたちに感じてほしい。そして…“自分はひとりじゃないんだ”と感じてほしい。この思いこそが、ふくいチャイルドラインの大きな原動力となっています。



チャイルドラインとは

“チャイルドライン”は、18才までの子どもであれば誰でもかけられる子ども専用電話です。どんな話でもOK、名前も言わなくていい、秘密は絶対に守ります。
子どもは本気で話を聴いてもらえた、受けとめてもらえたと感じることができれば自分自身で課題と向き合い、のりこえていく力を持っています。それを信じ、子どもの「ことば」の奥にある「こころ」を受けとめる…「電話でつながるこころの居場所」それがチャイルドラインです。



ふくいチャイルドライン

ふくいチャイルドラインは2002年に常設され、嶺北と奥越の県内2か所で開設しています。電話番号周知のため、市町の教育委員会を通してすべての小中学校にカードを配布しています。毎年、約6万人の子どもたちにカードを届けています。2019年度は受け手ボランティア54名、支え手5名、スーパーバイザー2名、運営スタッフ5名で活動しました。

※チャイルドラインは全国68団体で活動しています。ふくいチャイルドラインが電話をとれない場合、他県のチャイルドラインにつながる仕組みになっています。



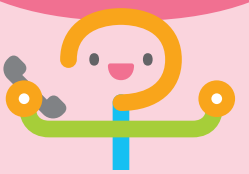
2020年配布カード

チャイルドラインの社会的役割



チャイルドラインから見える子どもたちの状況を社会に発信することで、子どもが生きやすい環境をつくっていきたいと考えています。ふくいチャイルドラインでは、1年間の電話のデータや子どもの声をまとめた報告書を発行しています。また理事長や室長の講演を通して、話を聴くことの大切さを社会に伝えています。

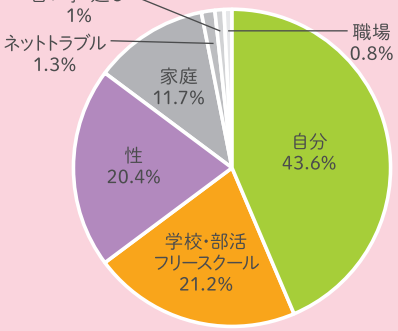
ふくいチャイルドラインに寄せられた 子どもの声



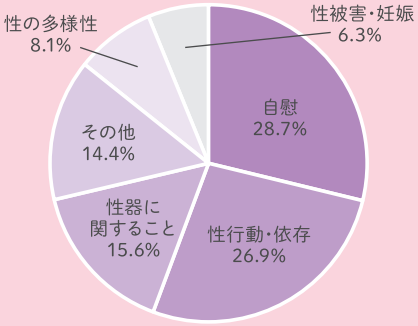
2019年度 総受信数 2,409件		
内訳	会話成立	786件
	会話不成立	435件
	無言	1,188件

子どもからの電話はすべて会話があるわけではありません。総受信数のうち約半数が無言電話です。同じ子どもと思われる数分ごとにかかる電話、長い沈黙のくり返し…電話の向こうから声なき声の緊張感が伝わります。「大丈夫、電話をかけてきてくれてありがとう、何も言わなくてもいいよ、話したくなるまでいつまでも待っているね」。チャイルドラインに寄せられた多くの子どもの声は、何度もかけてきた「無言」からたどりついたものがきっとあるはず。私たちは「無言」というコミュニケーションをとても大切にしています。

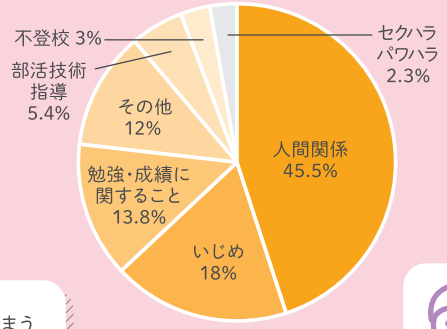
電話の内容



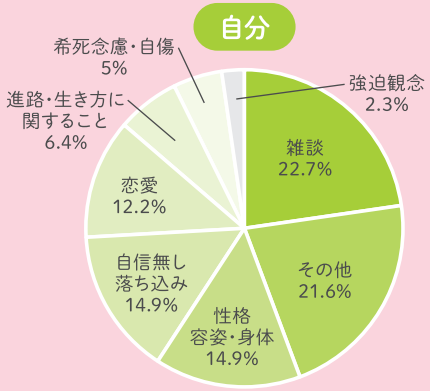
性



学校・部活・フリースクール



自分



母の彼が家にやってきて、お金を取ってしまうし、怒鳴ったり殴ったりひどかった。自分は高校を辞めて家出した。彼と暮らしている。でも、残してきた兄弟が気がかり。児相とかでなく、いつか自分が引き取って一緒に暮らしたい。どうしたらいいだろう。

兄弟でいつもけんかしちゃうけど面白いこともいっぱいするから楽しい。

学校帰りの電車の中、向かい側に座っていた学生たちが私を見て笑った。知らない人だけど、ばかにされているように思えた。また、一緒になることもあるかな、嫌だ。

体は女だけれど、自分は男だと思っている。学校でも男として見られたい。カミングアウトしたら、やっぱりヘンな目で見られるかなぁ。

友達にいじわるされて先生に相談したら注意してくれてとまった。でも、しばらくしたら、またいじわるしてきた。いじわるする子が自分の仲良しの子としゃべってる。一番イヤなのは友だちを取られること。新学期、学校に行きたくない。

学校では普通に話せていると思っていたのに、LINEで悪口を言われていた。これっていじめですよね。もう学校に行きたくない。

アルバイト先の店長が、仕事をやめさせてくれない。自分には仕事内容も自分にあってないと思うし、店長から怒られないかと気にしてばかり。

※紹介した子どもたちの声は、すべてプライバシーに配慮して再構成し編集したものです。

子どもの声を聴く ボランティアで 今の子どもと 繋がりませんか



「はい、チャイルドラインです」

と子どもの電話を受けるのは、一般のボランティアです。たくさんの子どもの話を聴くには多くの受け手ボランティアが必要です。ふくいチャイルドラインでは年に一度、養成講座を開いて受け手ボランティアを募集しています。電話の向こうの子どもに寄り添いながら、子どもの声を私たちと一緒に受けとめてみませんか。ボランティア募集については福井県子どもNPOセンターまでお問い合わせください。



安心して子どもの話を聴けるように継続研修を行っています

他にもこんなボランティアがあります



◎カードの仕分けや発送作業
カードを学校別に仕分けます。

◎募金の呼びかけやチラシ配布
ショッピングセンターや街頭でフリーダイヤルの募金を呼びかけチラシを配ります。

受け手ボランティアの声



繋がる場所はここにあるよ、嬉しい、楽しい、悲しい、何でも聴くよ、私はそんな姿勢で微力ながら受け手をしています。



子どもの気持ちに少し思いを馳せるようになりました。面白いことでもあったのかな、寂しかったのかなと、そう思うと愛おしさまで感じます。



子どもの気持ちに寄り添いながら、今日、明日、未来が明るく幸せでありますようにと一心に活動しています。



子どもから学ぶことがとても多いということに驚いています。自分自身を振り返る機会にもなっています。

ふくいチャイルドラインの活動にご支援ください

私たちが大切にしているのは、子どもが安心して気持ちを打ち明けられる居場所を提供すること、そして子どもの力を信じ、自立、自律をサポートすることです。子どもの権利条約の理念に基づき、子どもたちの人権が守られ、子どもも大人と同じように一人の人間として人格や意見を尊重される社会をつくりたいと思っています。チャイルドラインの活動継続には、フリーダイヤルの通話料や、カード作成、受け手の養成、研修など運営していくために年間100万円の経費がかかります。どうぞ、ふくいチャイルドラインの活動にご支援ください。

支援の方法はいろいろあります

1.寄付をして支援する

通信欄に住所・氏名と「ふくいチャイルドラインへの寄付」とご記入ください。
［振込先］郵便振替　00770-1-45546　福井県子どもNPOセンター

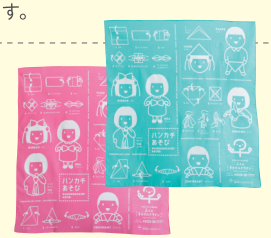
2.カードのスポンサーになって支援する

県内の子どもに配布する番号周知カード（約6万枚）、ポスター作成費の支援。企業名、団体名をカードに記載します。

3.グッズを購入して支援する

「あそべるおっきなハンカチ」を購入するとその一部がチャイルドラインに寄付されます。1枚 1,000円

※ハンカチ販売にご協力いただけるお店を募集しています。



Fukui KODOMO NPO Center

認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター

〒918-8106　福井市木田町36-1コーポ木田201
tel.0776-97-8460　fax.0776-97-8461
childnpo@muse.ocn.ne.jp　childnpo.com